

第一回郵便教育 交流会 in 松山中央局

平成26年3月8日

TOSS愛媛

「第一回郵便教育 交流会 in 松山中央 局」開催！

平成二十六年三月八日、松山中央郵便局にて、「第一回郵便教育交流会」が開催されました。このような交流会は、西日本初です。

郵便局からは、松山中央郵便局副局長西岡輝夫氏をはじめ、十名の局長や総務部長、日本郵便四国支社からは、郵便事業本部営業部長犬伏豊氏をはじめ三名の方々、TOSS愛媛からは、戸井和彦代表以下九名が参加しました。

西岡副局長あいさつ、 並びに郵便局での郵 便教育事業の説明

開会にあたり、西岡副局長からご挨拶をいただき、その後参加者の自己紹介、郵便局での郵便教育事業の説明がありました。



「手紙の書き方体験授業」、「あうメッセージ施策」が行われています。

手紙の書き方体験授業は、平成二五年度においては、全国で約八千校、四国では四一四校の小学校からの申込みがありました。中でも愛媛県の実施率は高く、五四・六%もの小学校で実施されました。全国の二八・二%を大きく上回った実施率です。平成二六年度もさらに取組を進めていく旨の説明がありました。

各郵便局での「手紙の 書き方教室」の報告

平成二五年度は、新居浜局、西条局、今治局、西予局の四つの郵便局で「手紙の書き方教室」が開催されました。それぞれの郵便局で、どのような実践を行ったか、報告がありました。



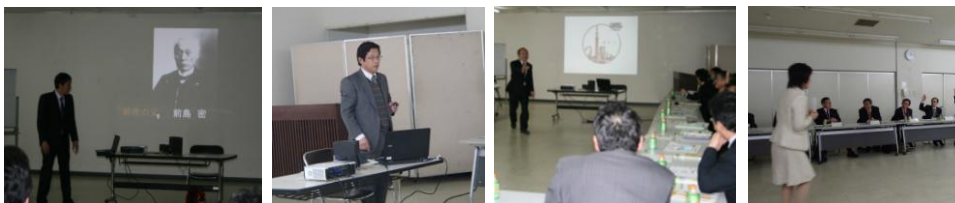
どの郵便局でも、子どもたちや保護者の方々に大好評でした。感想の一部を紹介いたします。郵便局の中の仕組みを知れてよかったです。

です。(三年生) ■子どもにとって初めての経験ばかりで、とてもいい体験ができました。またぜひ企画してください。(二年生保護者)

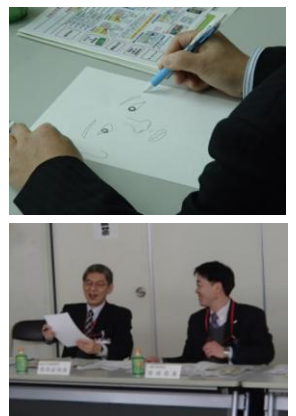
郵便教育模擬授業

TOSS教師による、郵便教育に関する模擬授業が行われました。内容は、「手紙の書き方テキストを使う」、「風景印」、「絵手紙作成と酒井式」、「郵便の歴史」の四つです。

局長さんや総務部長さんも、小学生になったつもりで、テキストに宛て名を書き込んだり、酒井式で自分の顔を描いたりするなどして、楽しく授業を受けられました。テキストを使った授業は、「手紙の書き方教室」で実際に行うような流れで進みました。テキストを使うと、誰でも、子どもたちに分かりやすく指導することができます。



酒井式の模擬授業では、みなさんとても楽しそうにご自身の顔を描いていました。数分後には、全員、個性あふれる作品を仕上げることができました。



小学校での郵便教育

戸井代表は、郵便教育とまちづくりについて話しました。郵便局はどんな小さな地区にもあり、地域に根付いています。その力を借りて、手紙を通しての交流を県内各地に広げていきたいと提案しました。



今後の展望

四国支社の方から、「来年は、もっと規模を大きくして交流会を実施したい」との言葉をいただきました。また、高速区分機のある郵便局六か所全てで、「はがきの書き方教室」を実施する予定です。

